

## 抗議声明：美浜原発の増設に向けた調査再開に断固抗議する

関西電力は7月22日、美浜原発の増設に向けた事前調査を開始すると表明した。東電福島第一原発事故の教訓を投げ捨て、被災された方、原発を止めてほしいと願う人たちの想い、周辺住民の怒りと不安を踏みにじる計画発表に断固抗議する。

調査再開を撤回し、美浜原発の増設計画を撤回するよう強く求める。

関電は、いまだ開発中で安全性が未確認、しかもきわめて高額な新型炉を建設しようとしている。既に老朽化している既存7基の原発は運転を継続する（運転開始から高浜1号は50年超え、40年超えが4基。30年超えが2基）。その上さらに、新たに増設を狙い、20年後も原発に依存し続けようとしている。

美浜原発の増設は、原発回帰を実現するためのものだ。国のエネルギー基本計画の「原子力の最大限活用」のもと、関電はこれを先頭にたって推し進めようとしている。新型炉の建設には1兆円以上の費用がかかるとされているが、この費用を電気料金の値上げで賄うために国が新たな支援策を画策し、経済的負担を住民に押し付ける。衰退する原子力産業を電力消費者の負担で延命させるものだ。

美浜原発の増設は、核のゴミをさらに生み出す。他方で、使用済核燃料対策は行き詰っている。関電の原発では、使用済核燃料のプールが満杯に近づき運転継続が危ぶまれている。そのため、原発敷地内に乾式貯蔵施設を建設しようとしている。しかし、約50年近く乾式貯蔵施設で保管した使用済核燃料の搬出先である中間貯蔵施設も決まっていない。六ヶ所再処理工場も2026年度に完成できるのかも不確かだ。重要施設でも既に高濃度に汚染されているレッドセルの立ち入り検査はできないため、建設当時の資料の確認で代替するという、事実上の検査放棄で済まそうとしている。

美浜原発の増設は、原発事故の危険を一層高める。美浜原発敷地周辺は活断層の巣で、敷地直下に活断層が走っている。こんな危険な場所に増設するなど許されない。

美浜原発の増設は、多くの住民の生活を脅かす。美浜原発から30km圏内には、福井と関西の約28万人が日々の生活を営んでいる。原発事故で琵琶湖が汚染されれば近畿の約1,450万人の飲み水が汚染される。原発の増設は、住民の被ばくの危険と環境破壊を一層推し進めるものだ。

原発回帰を狙う美浜原発の増設に反対していこう。

福井と関西、中部など全国の運動が連帯して、調査再開を撤回させ、美浜原発の増設を止めていこう。

2025年7月24日

**安全なふる里を大切に作る会**：三方上中郡若狭町気山145-6-1 石地 優 TEL：090-7741-8303

**ふるさとを守る高浜・おおいの会**：大飯郡高浜町小和田29-17 東山幸弘 TEL：0770-72-3705

**避難計画を案ずる関西連絡会**

（連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会）

避難関西のこの件の連絡先：美浜の会 大阪市北区西天満4-5-8 八方商事第2ビル301 TEL：06-6367-6580